

**製品名: T2R3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18562**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	TAS2R3
別名	TAS2R3; Taste receptor type 2 member 3; T2R3
遺伝子 ID	50831.0
SwissProt ID	Q9NYW6
免疫原	抗血清はヒト TAS2R3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 140-189

**背景**

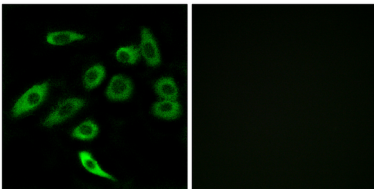
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体スーパーファミリーに属する候補味覚受容体ファミリーの一員をコードし、舌および口蓋上皮の味覚受容体細胞に特異的に発現する。これらの一見イントロンを持たない味覚受容体遺伝子は、苦味受容体として機能する 7 回

膜貫通型受容体タンパク質をコードする。この遺伝子は、7番染色体上で他の3つの候補味覚受容体遺伝子とともにクラスター化しており、苦味知覚に影響を与える遺伝子座と遺伝的に連鎖している。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能：口腔および消化管における苦味化合物の知覚に関与するガストデューシン共役受容体。PLCB2 およびカルシウム調節性陽イオンチャネル TRPM5 を介したシグナル伝達。、その他：1つの味覚受容体細胞に複数の苦味受容体が発現している。、類似性：Gタンパク質共役受容体 T2R ファミリーに属する。、組織特異性：舌および口蓋上皮の味覚受容体細胞のサブセットおよびガストデューシン陽性細胞にのみ発現する。幽門および胃底（胃の一部）、十二指腸、および胃内分泌細胞に発現する。、

## 研究分野

味覚伝達;

## 画像データ



TAS2R3 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。